

みずほCustomer Desk Report 2018/01/10 号 (As of 2018/01/09)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.15
TKY 9:00AM	113.16	1.1969	135.44	1.3566	0.7844
SYD-NY High	113.18	1.1975	135.47	1.3582	0.7865
SYD-NY Low	112.36	1.1916	134.06	1.3504	0.7807
NY 5:00 PM	112.66	1.1937	134.48	1.3539	0.7824
NY DOW	25,385.80	102.80	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,163.58	6.19	日本10年債	0.0600	1.00bp
S&P	2,751.29	3.58	米国2年債	1.9703	1.23bp
日経平均	23,849.99	135.46	米国5年債	2.3282	4.20bp
TOPIX	1,889.29	8.95	米国10年債	2.5503	7.12bp
シゴ日経先物	23,830	▲150.00	独10年債	0.4630	3.05bp
ロンドンFT	7,731.02	34.51	英10年債	1.2820	4.60bp
DAX	13,385.59	17.81	豪10年債	2.6380	3.10bp
ハンセン指数	31,011.41	111.88	USDJPY 1M Vol	6.20	0.23%
上海総合	3,413.90	4.42	USDJPY 3M Vol	6.98	0.13%
NY金	1,313.60	▲6.80	USDJPY 6M Vol	7.45	0.08%
WTI	63.48	1.75	USDJPY 1M 25RR	-0.35	Yen Call Over
CRB指数	194.16	1.24	EURJPY 3M Vol	7.85	▲0.05%
ドルインデックス	92.50	0.15	EURJPY 6M Vol	8.00	0.00%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月10日	00:00	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁	「物価目標達成には低金利が適切だ」	

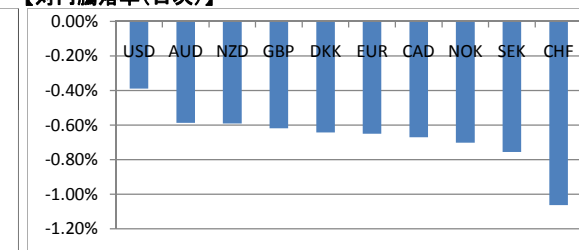
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月10日	10:30	中 PPI(前年比)	12月 4.8%	5.8%
	10:30	中 CPI(前年比)	12月 1.9%	1.7%
	18:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	11月 0.4%/1.8%	0.0%/3.6%
	23:00	米 エバンズ・シカゴ連銀総裁 討論会に参加	-	-
	23:10	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
1月11日	00:00	米 卸売在庫(前月比・確報)	11月 0.7%	0.7%
	03:30	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.10—113.10	1.1900—1.1980	134.00—135.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円は上値の重い展開。欧州時間序盤に中国人民銀行による人民元の中心レート設定方法変更に関する報道を受けた元売りの動きにつられ、ドル円も112.97まで上昇。米国時間に入り、米10年債利回りが2.50%台を上回り、2.55%まで上昇する動きが見られたものの、ドル円の上値は重く、一時112.39まで下落する場面も見られていた。東京時間朝方は112.65近辺で推移。金利とドル円の相関が薄れており、引き続き方向感の見出しづらい展開となろう。

東京	東京時間のドル円は113.16レベルでオープン。特段の材料なく113.10付近で動意に乏しく推移していたが、日銀が通告した国債の買い入れ額が「残存10年超25年以下」「残存25年超」でそれぞれ100億円減額されたことを受け日銀による引き締めとの思惑から長期ゾーン中心に円債利回りが上昇。円が全面高となる展開にドル円は113円を割り込んで、一時112.50まで下落した。一巡後はやや値を戻して、112.66レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は112.66レベルでオープン。南北閣僚級会談で、北朝鮮が平昌五輪への参加を表明したこと等から南北の緊張が緩和し、112.96まで上昇。その後は、特段の材料無しの日銀オペ減額等が意識されてか、112.59まで売られ、112.61レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1964レベルでオープン。ドイツでは11月の鉱工業生産指数が大幅に上昇し、貿易黒字も拡大。ユーロ圏でも11月の失業率が8.7%と、9年ぶり低水準に改善したが、為替市場ではユーロ売りが優勢。1.1921まで低下し、1.1934レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3572レベルでオープン。メイ英首相は英保守党の支持率回復を狙って、内閣改組を断行したが、新味なく、横滑りを求めた閣僚に拒絶されるなど、結局、メイ首相の求心力の低下を示しただけだった。1.3514まで下落し、1.3523レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は112.61レベルでオープン。朝方は米株の堅調推移を背景に112.78まで上昇。米11月JOLT求人率は予想を下回ったが、市場の反応は限定的となった。その後のドル円はロンドンフィックスを目前にドル売り円買いが強まると、アジア時間の安値を割り込み112.36まで下落。しかし、一目均衡表の雲の下限となる112.38が意識されたことや、米金利上昇を受けてドル円は112.66まで反発。午後は米10年債金利が節目となる2.5%を上げ堅調な推移を維持したことや、在庫減の思惑等からWTI原油が3年1ヶ月以来となる63ドル台まで一時上昇し米株市場も最高値圏で引けたことからリスクセンチメントの改善にドル円は112.60付近での底堅い推移が続き、112.66レベルでクロスした。一方ユーロドルは1.1934レベルでNYオープン。朝方に安値1.1916まで下落したが、この水準ではユーロ買い意欲も高く反発。しかし米金利上昇を横目にその後も上値の重い展開が続き、1.1937レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 福田・森谷